

## 2023年度

### 元気ひろば保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月1日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「元気に遊び、元気に学ぶ」保育理念に則り、子どもの欲求を十分に受け止め満たしていきながら、子ども一人ひとりの興味や関心に寄り添い、より良い経験が出来るように保育内容を検討しながら行うことができた。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりを受容し、思いを理解しながら保育を行うようにした。環境も都度見直しを行い、その時に最適な方法で子どもたちを解除できるように工夫することができた。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳等で一日の様子を伝え、子どもたちが楽しく園内で過ごしている様子を伝え、安心してもらえるようにした。不安な事など些細な事でも相談できる関係、成長した姿を喜びあえる関係づくりを丁寧に行うことができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修の充実化を図り、子ども一人ひとりの発達を職員間で確認し合う機会とした。また、日々の保育を振り返ることで質の向上に努め、より良い保育へ繋げていけるように職員間での共有を重点的に行った。

総評
子どもの「今」の姿を職員間で共有しながら保育を進めていくようにした。その為に必要な話し合いの場を設け、職員一人ひとりが子どもと丁寧に向き合えるように努めることができた。安心・安全な環境と職員配置を行いながら、大きな怪我無く過ごすことができたのは、職員間の連携によるものだと考える。不適切保育については何度も話し合いの場を設け、職員が何が適切で何が不適切なのかを学び知識として身に着けられるようにした。子どもたちを中心に考えながら、職員も楽しみ保育を行うことができていた。